

2026.1.19

五位池小学校の桜守管理活動

文責（藤原春善）

1、日時：2026 年 1 月 19 日（月）14 時 00 分～15 時 30 分 <晴>

2、場所：神戸市長田区五位池小学校

3、活動員：NPO ソグッドナガタ（1 名）

NPO 兵庫樹木医会樹木医（2 名）

長田区グリーングループ（1 名）

自然体験活動支援シニア種まき隊（1 名）

五位池小学校 {校長、教員 2、栽培委員（5・6 年生）10}

4、内容：生徒に桜について説明し、五位池小学校校舎改装工事の影響を受けたソメイヨシノを観察し、保全対策として枯れ枝剪定及び割竹法等の指導を行った。

ソメイヨシノ（正門 4 本）について現状を説明し、桜の改善対策を行った。

（1）ソメイヨシノの健康（枝・幹・根） 観察結果チェック

・枝（冬芽）：冬芽の発達が不良な枝、枯れ枝、病虫害枝、重なり枝等がみられた。

・幹（樹皮）：①のソメイヨシノにコスカシバの食痕・ヤニ、ヒロヘリアオイラガ繭が見られた。④のソメイヨシノにナラタケモドキが見られた。すべてのソメイヨシノにウメノキゴケ等地衣類が見られた。

・根（根上り・山中式土壌硬度・開口空洞）：

山中式土壌硬度（①18.4mm,②22.6mm,③25.4mm,④24.0mm）で
硬い 22mm 以上の地点が多く、根上り場所が見られた。

④ソメイヨシノに開口空洞が見られた。

（2）ソメイヨシノの健全対策

・枝（冬芽）：冬芽の発達が不良な枝、枯れ枝、病虫害枝、重なり枝等の
ブランチカラーを残して剪定した。

なお、切口直径 2cm 以上は、トップジンペースト等殺菌剤を塗布した。

・幹（樹皮）：コスカシバの食痕をつぶし殺菌処理した。

ヒロヘリアオイラガの繭を除去した。

ナラタケモドキの除去殺菌処理を行った。

ウメノキゴケ等地衣類の顕著な部分は除去した。

・根（根上り・山中式土壌硬度・開口空洞）：

根上り場所及び割竹の挿入箇所は腐葉土を散り敷いた。

土壌硬度 22mm 以上の地点は地挿棒及びアースドリル（ハンドオーガー）で穴あけをし、割竹（①4，②2，③0,④1）本を挿入し、土壌改良を行った。

なお、④の開口空洞のあるソメイヨシノは、キガタメール等による充填を検討している。

（３）今後の課題

- ・校舎改修工事で損傷した④ソメイヨシノの根・主幹の修復について検討する。
- ・山中式硬度計の硬度が 22mm 以上であるところは、更に割竹挿入を推進する。
- ・校舎の裏側の 2 本のソメイヨシノについても健康診断チェックを行う。
- ・生徒が桜の管理活動をしやすいように観察手帳の作成を検討する。
- ・桜の植栽地と歩道区分し、杭打ちをする。できれば歩道に砂利を敷く。



① ソメイヨシノ



①アースドリルによる穴あけ



① 割竹挿入



①割竹周辺に腐葉土を入れる



② 根上がりしたソメイヨシノ



④ソメイヨシノに着生したナラタケモドキ



③ 片面をコンクリートで固められたソメイヨシノ ③割竹挿入



④ ソメイヨシノ開口空洞、キノコ観察 ④高枝鋏で枯れ枝剪定



④ 割竹挿入

④胴吹き剪定